



各部会の実践

(2) 学校支援ボランティアの活用

スクールガードや図書ボランティアなどをもとに、新たなボランティアとして、社会科ボランティア、家庭科ボランティア、緑化ボランティア、丸付けボランティア等を募集し、学校を支援する体制を強化した。また、地域コーディネーターを新設し、学校と学校ボランティアの連絡調整ができる体制を整えるようにした。

<スクールガードの活動>

ア 発足の経緯

平成20年度末に吉岡町で児童を見守るための組織作りの声上がり、スクールガードが発足した。その後、順次全町内でも組織化された。

イ 活動の様子

- ・登校時と下校時の子ども達の見守りと声かけ
- ・あいさつの励行
- ・横断歩道での安全指導

ウ 情報交換会

- ・年度初めの総会及び学校集会時での紹介
- ・年度末反省会（「感謝の会」）
- ・上記の会で各町内の様子を情報交換

エ その他

- ・文部科学大臣賞を受賞



懇談会の様子



あいさつ運動の様子

<家庭科ボランティアの活動>

ア 学習場面

5年生「玉結び、玉どめ、ボタン付け」の練習「なみ縫い、返し縫い、かがり縫い」の練習「小物製作」

イ 事前の申し合わせ事項

やり方は教えるけど、全部はやってあげない。

ウ 児童の様子

子ども達は、積極的に質問し、優しく丁寧に教えてもらいながら、小物作りを完成した。事後アンケートでも、「よく教えてもらった」「教えてもらった」と答えた子が8割強となり、家庭科ボランティアの存在は、効果があったといえる。



読み聞かせの様子



夏休みの図書室開放の様子



図書作業の様子



丸をつけてもらう様子



縫い方を教えてもらっている様子

<図書ボランティアの活動>

ア 読書週間での読み聞かせ

毎学期行われる読書週間に、学年毎に読み聞かせをしている。

イ 20分放課での読み聞かせ

20分放課に、図書室で読み聞かせを行う。低学年の子どもが多く参加している。

ウ 夏休みの図書室開放ボランティア

夏休み中に本を読んだり勉強したりできるように図書室を一部開放し、その運営をサポートしてもらう。プール開放の前後に来る子もいる。

エ 本の修繕と詩の掲示

傷んだ本を修繕したり、昇降口に掲示する詩を作成したりしている。

<丸付けボランティアの活動>

ア ボランティアの場面と役割

算数の練習問題やまとめの学習のときに、丸付けをする。丸付けボランティアが増えれば増えるほど、丸付けを待つ時間が少なくなり、学習時間が増える。

イ 教師の役割

個別指導と質問への対応に徹する。教師が個別指導に徹することにより、つまづいて困っている子どもを救うことができ、学力向上への一助となる。

ウ 学習の流れ

- ①問1を解く→②丸付け→
 - (間違えた場合はやり直し丸付け)→
 - ③ネームプレートを黒板上の問1から問2へ移動→④問2を解く→丸付け……
- ※教師は黒板上のネームプレートを見て進み具合が遅い子を個別指導する。

子どもの感想①

スムーズに丸付けがや、てもらえて、すぐに次の問題がやれ、なにがまちが、ているかをすぐにやさしく教えてもらえてよかったです。

<子どものアンケートから>

- ・わかりやすく教えてくれてよかったです。こまるとすぐきてくれてとてもうれしかったです。
- ・かがり縫いなどをどうやったらきれいにできるかとかを教えてもらった。さいほうは苦手だったからボランティアの人にきてもらってうれしかった。
- ・教えてもらう前は、本返し縫い、半返し縫い、かがり縫いがわからなかったけど、教えてもらってわかるようになってよかったです。家でも小物入れを作りたいです。
- ・玉むすびや玉どめがじょうずにできる方法を教えてもらいました。

(3) 外部人材の活用

本地域には、豊富な経験や知識をもった方がみえる。この方々を外部講師として積極的に授業に招いている。

【国語「町のよさを伝えるパンフレットを作ろう」】

6年生は、尾張旭市と瀬戸市のパンフレットを作っている「アサヒトセト」という会社から講師を招き、パンフレットづくりにおいて必要な視点や、具体的な工夫の仕方について説明をしていただいた。

【理科「流れる水のはたらき」】

5年生は、ESDを推進している環境パートナーシップの方を招いた。矢田川の環境や自然災害のことなどについて、映像や実験を通して学んだ。環境教育の専門家の説明に子ども達も納得していた。



ゲストティーチャーの話



環境パートナーシップによる授業

2 地域連携部の具体的な取組

(1) 瑞鳳小ふれあい子ども会議（異世代交流会議）

ねらい： 児童・教師と地域の方々、学校や地域の課題について互いに意見を出し合い、魅力ある教育活動を計画・実践し、地域とともにある学校づくりをするとともに、児童や地域の方々の自己実現を果たす。

瑞鳳小ふれあい子ども会議は、児童会の任期に合わせて、前期2回、後期2回、合計4回開催することにした。地域の自治会をはじめとする各会の代表の方13名（地域連携教育推進委員会：評議員会含む）と児童会役員・議員19名で構成し、共通テーマ「ふれあい活動」と時事テーマについて話し合いをした。



児童会の意見を発表する様子



分類された短冊を見ている様子

第1回瑞鳳小ふれあい子ども会議

(H26年5月)

時事のテーマを「瑞鳳小学校のよいところと課題」とした。児童からは、よいところは「①瑞鳳まつり②元気がよいところ」、課題や行いたいことは、「①地域交流②あいさつ運動③ものを大切にしたい」などが出た。地域の方々からは、よいところは「①学年を超えて仲良く②まとまりがよい」、課題は、「①地域のいろいろな会に参加してほしい②あいさつを子どもからしてほしい」などの意見が出た。共通テーマ「ふれあい活動」については、ブレインストーミング手法を使い、短冊にやりたいと思うことを自由に書いてもらった。

テーマ

- ① 地域防災活動
- ② ふれあい活動

テーマ

- ① 瑞鳳小のよいところ
- ② ふれあい活動

第2回瑞鳳小ふれあい子ども会議

(H26年7月)

オブザーバーとして校区の議員さん、教育委員会の皆さんにも来ていただいた。時事テーマ「地域防災」では、最初に4年生が総合的な学習で調べてきた地域の防災マップを基調提案し、その後、地域防災について「やってみよう」「してほしいこと」を、短冊に書き黒板に分類しながら貼った。いろいろな意見があり、子どもも地域の方々も参考になった。共通テーマ「ふれあい活動」では、運動会・校区スポーツ大会、盆踊りへの参加について、たくさんの方に来ていただく方法について話し合った。その結果、運動会のエキシビジョン「みんなでわっしょい」や「給食交流会」を導入することになった。



児童が司会進行を行う様子

ふれあい子ども会議を通しての変化

児童と地域の方々話し合いをすることによって、子ども達の考えもより広がり豊かになってきた。また、地域の方々も子ども達のことや学校について理解が深まり、つながりがいっそう深まった。また、運動会の「みんなでわっしょい」や給食交流会など実現できたものもあり、子どもも地域の方々も学校運営に参画でき、地域とともにある学校づくりの一助となった。

第3回瑞鳳小ふれあい子ども会議

(H26年12月)

時事テーマ「地域防災」では、「防犯ブザーの点検をすること」「110番の家をどう確認するか」等について話し合った。今回は児童と地域の方々小グループになって話し合いを行った。子どもと大人が膝を交えて話し合うことができた。

テーマ

- ① 今年度、できてよかったこと
- ② 来年度、できそうなこと

テーマ

- ① 地域防災活動
- ② ふれあい活動

第4回瑞鳳小ふれあい子ども会議

(H26年2月)

本会議では、1年間の総括をした。議題を①今年度、できてよかったこと、②来年度、できそうなこととし、小グループで話し合った。来年度に行ってみたいこととして、校区内の清掃活動や学校花壇での植物作りを地域の方々と一緒にできたらいいという具体的な提案もなされ、今後の取組課題となった。



小グループでの話し合いの様子

参加した地域の方々の感想

感想をお書きください。

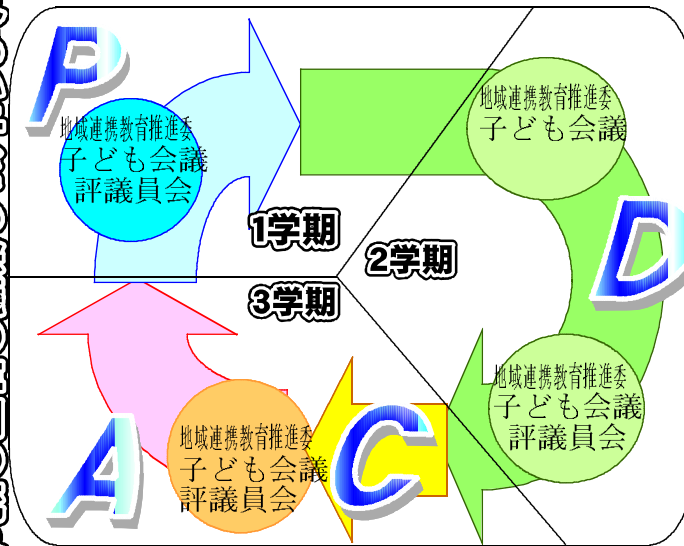
参加した児童の感想

1 感想を書いてください。

会議前の児童の発言メモ

1 今年度、できてよかったことについて
 「運動会での地域の方の大玉おくり、玉入れ」
 「地域の方と給食を食べようの会」
 「運動場の壁面復活事業」
 「瑞鳳祭りに地域の方も参加」
 「保育園児とあそぼうの会」
 「地域で防災訓練」などの中から、何がどのようによかったかを具体的に書く。
 「運動会での地域の方の大玉おくり、玉入れ」が良かったと思います。生徒が「楽しかった」、「地域の方と遊ぶのが楽しかった」と言ってくれたのが良かったと思います。
 2 今年度のふれあい会議の反省
 ・「ここがちょっとできていなかった」ということ
 (自分自身のことや①でやったことの反省点)
 大玉を送るのを、1組、2組の最初の進め具合が違うのがちょっと勝つ負けに悩むと思ったので、調節しながらやり方を良くして欲しい。
 3 来年度、できそうなこと
 ① 「今年度できたことで、来年度はこう変えて実行したい」というもの
 ・以前、話し合いの時に、「地域の方と給食を食べようの会」を年に1回開催したいという案が出たので、それを実現したいです。
 ・今年度は、話し合いには出てきたけど、実行できなかったのやってみよう。
 地域の方と1ヶ月に1回開く「あいさつ運動」をすることです。
 ② 「今年度は、話し合いにはあがらなかったが、新しくやってみたい」こと
 地域の方とあいさつをしても、子供が不審者だと思われ、あいさつをしない事があるそうです。なので、何かスクールガードの方だと分かる物を身につけてほしいと思います。

ふれあい子ども会議の年間の流れ



(2) 保育園との連携と交流

ねらい： 川南保育園と連携・交流し、キャリア教育の一環として、5年生の保育士体験と6年生の読み聞かせを行いたい。また、様々な機会に園児と交流することで、思いやりやいたわりの心を育てていきたい。

平成26年度、川南保育園の園舎建て替えに伴い、瑞鳳小の北館に1年間川南保育園が仮移設された。



保育士体験の様子

5年生の保育士体験

5年生は、12月にキャリア教育の一環として、川南保育園で保育士体験を行った。園庭や多目的室で簡単な遊びをしたり、リースづくりを一緒にしたり、給食の手伝いをしたりした。保育園からは「園児がとっても喜んでたよ」と大変感謝された。5年生にとっても職業観やいたわりの心を育てることができた。

また、学校集会で、4名の代表児童が保育士体験について、その大変さや生きがいなどを発表した。働くことの大切さをより一層理解することができた。

**5年生
保育士体験**

**6年生
読み聞かせ**

園児への読み聞かせボランティア活動

6年生は、各学期の読書週間後半に、昼放課、川南保育園で読み聞かせボランティアを行った。6年生の希望者が多いため、毎日違う児童が読み聞かせをした。どの子も表情がとてもにこやかになり、思いやりやいたわりの心が育った。また、この体験を通して園児のためにボランティアとして働くことの大切さも体験することができた。



本校北館での読み聞かせの様子(H26)



新園舎での読み聞かせの様子(H27)



園児と遊ぶ会

11月より、月3回昼放課に、希望小学生と園児とで、外遊びをすることになった。例えば11月は、1・2年生はひょうたん鬼、3・4年生は島鬼、5・6年生はサンドドッジなどをした。園児と遊ぶことによって、思いやりやいたわりの心を養うことができた。

保育園との連携と交流での変化

保育士体験や園児への読み聞かせをすることによって、職業やボランティアに関心を持つことができ、キャリア教育の一助となった。また、園児と交流したことで、思いやりやいたわりの心が育ちはじめた。

**全学年
園児と遊ぶ**

瑞鳳まつり・2年フェスティバルへの招待

**2年生・5年生
ライオンまつりへの参加**

児童会の瑞鳳まつり

児童会主催の瑞鳳まつりでは、児童会と地域の方々のゲームブースがあり、小学生は通学団でゲームを楽しんだ。また、保育園の園児にも楽しんでもらえるように、ゲームの内容を簡単にしたり、説明を園児にも分かるように工夫したりしたことで、園児にもゲームを楽しむことができた。

また、2年生のフェスティバルにも、園児を招き、一緒に遊ぶことができた。

園児にも保育士さんにも喜んでもらうことができた。

保育園のライオンまつりへの参加

2年フェスティバル、5年保育士体験の交流がもとで、2年生と5年生が招かれ、園児（年長）が企画したゲームを楽しむ姿が見られた。子どもの中には、園児を喜ばせるお客さんになり、場を盛り上げていた。今回は、招かれた立場だが、フェスティバルや保育士体験での経験を生かして、どうしたら喜んでもらえるかを考えた姿が見られた。



園児にゲームを説明している様子



園児との交流の様子

企画と運営した児童会役員の感想

初めて保育園の子たちと遊べて良かったけど、ルール説明を理解してもらうのが大変でした。また、昨年と比べておもしろそうなゲームがたくさんあったので、地域の方たちとやれたことはとても良かったです。

(3) 地域の方々との交流

ねらい： 地域には、教師にはない様々な知識と技能をもった方々が多数みえる。その方々から、専門的な知識や技能を教えていただき、豊かな教育や魅力ある学校を創造したい。また、地域の方々と接する中で、子ども達も地域の一員であるという自覚を持たせたい。



稲作体験を通じた交流活動

田植え体験

6月第1日曜日に、どろんこ広場で、「田植えまつり」があった。瑞鳳小学校の子ども達だけでなく、川南保育園の子や西中学校の子も来ており、保護者や地域の方々、市長さん、教育長さん、学校の先生も田植えを楽しんでいた。

また、これに伴い、5年生は、6月第1週にどろんこ広場で、地域の皆さんに田植えの仕方を教えていただき、田植え体験をすることができた。



地域の方々との田植え体験の様子

田植え体験

案山子づくり

案山子づくり

6年生は、9月に地域の方々の協力を得て、案山子づくりをした。子ども達は思い思いの案山子を楽しく作っていた。できあがった案山子を、どろんこ広場に設置した。



案山子づくりを楽しむ児童

稲刈り体験

稲刈り体験

5年生は、10月にどろんこ広場の方々に指導していただき、稲刈り体験をした。初めて鎌で稲刈りをする子や、わらで稲を縛りはぎ掛けをする子が多く、大変苦戦していた。米作りの大変さを地域の方々から教えてもらい、貴重な体験ができた。

また、10月第3日曜日に、どろんこ広場で地域の収穫祭（稲刈り）が行われた。地域の交流の場にもなっている。



稲刈りを教えてもらう児童



大玉おくりを地域の方々と楽しむ様子

地域の方々との交流での変化

地域の方々から稲作について教えていただくことにより、稲作の大切さと大変さを体感することができた。

また、多世代の方々との交流の機会が増え、幅広い人間関係を築くとともに、地域の一員であるという自覚も芽生えはじめた。

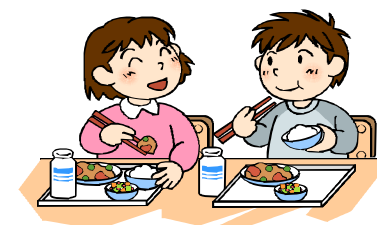
給食交流会

給食交流会

瑞鳳小ふれあい子ども会議で話し合った意見が形となった。敬老の日と連動して、1～3年生は、地域の方々25名と給食交流会をした。地域のお年寄りの方は、学校の子も達と話をしたり、給食を食べたりして、楽しい一時を過ごされた。



地域の方々と会話を楽しむ様子



運動会での交流

運動会での交流

瑞鳳小ふれあい子ども会議で出た意見が形となった。地域の方々と一緒に大玉おくりを行った。地域の方々も多く参加していただき、運動会を盛り上げた。

グランドゴルフ交流

グランドゴルフ交流

9月、大塚公園で、吉岡町のシニアの方々と小学生がグランドゴルフをした。瑞鳳小ふれあい子ども会議の話し合いの中に、地域の方々と子ども達が交流する機会があるといいという意見があり、これを地域の方々が具現化した。



プレーの仕方を教えてもらう様子

(4) 子どもボランティア活動と地域での活躍

ねらい： 自己有用感を高めるためと、地域の一員であるという自覚を育てるために、子どもボランティアを発足する。
また、小学生からボランティア精神を養うことで、地域に貢献できる人を育てたい。



盆踊りボランティア

8月初旬、大塚公園で瑞鳳校区盆踊り大会が2日間行われた。地域の自治会の方々が子ども達に、ジュースの交換のボランティアを募った。当日は、引換券とジュースを交換するボランティア活動を行った。ボランティアの子ども達も地域の方々も喜んでいました。

盆踊り



ボランティアを楽しむ様子



敬老茶会の様子

敬老茶会

敬老茶会ボランティア

9月第1日曜日、瑞鳳公民館で敬老茶会があった。瑞鳳小学校からは、2・3年生26名の抹茶ボランティアの子がお手伝いをした。また、瑞鳳小学校の子ども達の絵や作文の掲示もあり、地域の方々やお年寄りの方も喜んでくださった。

ひまわりの
植え

ひまわりの種まきボランティア

矢田川河川敷の5町内の花壇で自治会の水辺委員会が主体で行っているところへお手伝いに出かけた。

最初に市議会議員（自治会水辺委員）から「福島ひまわり里親プロジェクト」のお話をいただき、そのプロジェクトの趣旨を理解して、活動することができた。



種を植える様子



ファンファーレ部の参加

コミュニティ運動会で、ファンファーレバンド部はパレードと演奏をし、盛り上げた。

コミュニティ運動会の
ファンファーレ部参加

野菜の栽培

野菜の栽培・販売

昨年度より瑞鳳小校区では、月末の土曜日に青空市をすることになった。3年生は、学級園で育てていたキュウリを青空市で売るため、朝、学級園で育てていたキュウリを収穫して、水洗いをし、準備をした。また画用紙に値段30円の表示やキュウリの絵をかきながらポスターを作り、青空市で長机に商品であるキュウリを並べた。

威勢のよい「いらっしやい」のかけ声に、あっという間に完売した。

子ども達は、「キュウリ6本でいくらかになるのか、おつりがいくらかになるのか」と1学期の算数で勉強した計算を駆使しながら考えていた。また、「どうして、大きいキュウリが売れないのだろうか」とつぶやいていた。

学校の勉強が、実生活に生かされよい取り組みになった。

また、このことが、キャリア教育や起業家教育にもつながった。



青空市での販売の様子

子どもボランティア活動での変化

子どもボランティア活動をすることで、地域の一員としての自覚が育ちはじめてきた。また、地域も子ども達を育てようとする気運が高まってきた。

あいさつ運動

あいさつ運動

おじさんおばさん運動があった。児童会のあいさつ運動に加え、地域のみなさんもあいさつ運動をした。

さらに、PTAの役員も加わり、盛大なあいさつ運動になった。また、あさびースマイルあいさつ運動、地域のおじさんおばさん運動として、たくさんの地域の方々やPTAの役員の方も通学路に立ってくださり、子ども達と気持ちのよいあいさつが交わされた。

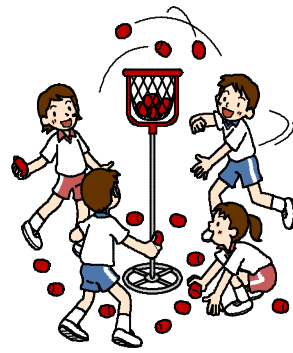


地域ぐるみで取り組むあいさつ運動



(5) 土曜・日曜の地域行事への参加奨励

ねらい： 学校5日制が始まって久しいが、土曜・日曜の過ごし方について、地域行事を積極的に紹介し、参加を促すようにしたい。また、ゲームやスマホなどのバーチャルな世界から、直接人と人がつながり合う現実の世界の面白さや大切さを体験できる機会とし、豊かな人間性を育てたい。



校区コミュニティ運動会

例年9月下旬～10月上旬の日曜日に、校区コミュニティ運動会が行われる。子ども会議で子どもの参加が少ないことを話し合い、児童会でポスターやチラシを作成した。綱引き、魔法の絨毯、フォークダンス、玉入れ、町内対抗リレーなど、多くの子ども達が参加した。



地域の方々との玉入れ競技の様子

こどもまつり

例年5月第2土曜日に大塚公園と児童館で「こどもまつり」がある。太陽光発電・風力発電など子ども達が楽しく学習できる企画があり、専門家から話を聞いたり作品を作ったりして、多くの子ども達が楽しんでいる。



制作を楽しむ様子

コミュニティ運動会

**防災訓練
避難所体験**

自主防災訓練・避難所体験

自治会主催の自主防災訓練では、消火器体験・煙道体験を行った。また、防災リーダーズによる防災グッズ（新聞紙のスリッパ）づくりと、学校による段ボールのパーティションづくりもした。

避難所体験では、自治会やPTA、婦人会のみなさんの協力で簡易トイレ作りや懐中電灯探しなどを行った。



防災訓練の様子



簡易トイレ作りの様子



児童館もちつき大会

例年12月第1土曜日に、どろんこ広場で収穫した餅米を使って、もちつき大会がある。瑞鳳小の子ども達もたくさん参加し、餅つき体験をした。田植えから稲刈りまでの授業と地域行事がつながり、子ども達が地域を意識することができた。

土曜・日曜の地域行事への参加での変化
ポスターの掲示、チラシの配布、放送での呼び掛けなどを通して、地域行事への参加度が上がってきた。このことで、土曜・日曜に、様々な体験をしたり、多世代交流をしたりすることができるようになった。

もちつき大会

PTA全体事業

壁画ペンキ塗り

運動場壁画ペンキ塗り

10月に、33家族87名が参加し、南側面巨大壁画のペンキ塗りをした。今回は父親の参加を呼びかけ、父親と子どもの交流を図った。ペンキ塗りを通して親子の絆が深まるとともに、すばらしい壁画を復活することができた。

PTA全体事業

11月、PTA全体事業が瑞鳳小学校で開催された。今年は、「ものづくり」をテーマに、「陶芸」「クラフトバンド」「バルーンアート」にチャレンジした。講師の先生に教えていただきながら、親子で楽しく取り組んだ。子ども達は、自分の作りたい作品を器用に仕上げ、とても満足していた。



家族で行事に参加する様子



餅つきで地域の方々と交流を深める様子

運動場壁画ペンキ塗り感想（児童）

壁画、ペンキぬりは親子のきずなと、地域の人とのきずなが深まるのでよかったと思う。

運動場壁画ペンキ塗り感想（保護者）

普段交流のない保護者の方と話し合うことができるよい機会だったと思います。思い出にもなり良かったです。